



大阪外国語大学グリークラブ
第39回定期演奏会

1995年12月9日(土)

開場 18:00 開演 18:30

箕面文化センター 8F大会議室

Gaigo Will Shine Tonight

Gaigo Will Shine Tonight

Gaigo Will Shine!

Gaigo Will Shine Tonight

all down the line!

Gaigo Will Shine Tonight

Don't they look fine!

When the sun goes down

and the moon comes up

Gaigo Will Shine!

Varsity (大阪外国語大学学生歌)

Varsity! Varsity!

Osaka Gaikokugo Daigaku!

Praise to thee our alma mater

U.Rah Rah!

Osaka Gaidai!

《大阪外国語大学学歌》

世界をこめし戦雲ようやくはれて

東の空に暁の明星ひとつ

これぞ大阪外国語大学

建てよ建てよ平和の旗

叫べ叫べ愛の言葉

輝かせ文化の光

北シベリアの氷とぞす野より

みなみ南洋の浪かすむ涯際

わが健児らの活動の天地

建てよ建てよ平和の旗

叫べ叫べ愛の言葉

輝かせ文化の光

大阪外国語大学グリークラブ顧問 高田 博行 (ドイツ語科助教授)

第39回の定期演奏会の開催、おめでとうございます。部員数が去年と比べて増えたとはいえ、極めて少人数であることには変わりのないクラブ活動には大きな困難が伴ったに違いないと推察します。それだけに、心よりお祝いのことばを捧げます。今宵は、日頃の練習の成果を十分に発揮すべく、バラエティーに富んだ4つのステージを聞かせてもらえるとのことですが、なかでも、大阪外大グリーのOBである清水脩先生の書かれた組曲「三つの俗歌」と、外大グリーの伝統の息づくNegro Spiritualsとが楽しみです。自ら感動し、そしてわれわれを感動させて下さい。

ご挨拶

大阪外国語大学グリークラブ 部長大木 周

本日はお忙しい中を、大阪外国語大学グリークラブ第39回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私たちの団は数年前より部員の減少傾向という問題に直面しており、今年も技術面、運営面において厳しい1年となりました。こうした現実の中、単なる自己満足に堕することなく、少しでも良い演奏会にするため、そして少しでもお客様に楽しんでいただける演奏会にするために、日々練習を重ねて参りました。本日はその活動の成果を皆様の前に示すことで、男声合唱の魅力を存分に味わっていただければ幸いです。

最後になりましたが、当演奏会の開催に当たり、ご援助、ご指導いただきました、諸先生方、OB諸兄、関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

PROGRAM

Gaigo Will Shine Tonight, Varsity

(大阪外国語大学学生歌)

大阪外国語大学学歌

男声合唱組曲「小譚詩」

パリンカ

牛の鈴

白い花びら

作詩 薮田 義雄 作曲 小山 章三

Train, トレイン, とれいん

編曲 森野 良典

--Intermission--

男声合唱組曲「三つの俗歌」

追 分

どきまぎ

無宿者の歌

作詩 北原 白秋 作曲 清水 脩

NEGRO SPIRITUALS

Bones Come A-Knittin'

Little Innocent Lamb

Po'Mourner's Got a Home at Last

Let Us Break Bread Together

Ready When He Comes

Wade In de Water

Little David, Play on yo' Harp

Soon One Mawnin'

指揮 松波 大介 ピアノ伴奏 中山 昌子

1st STAGE 男声合唱組曲 「小譚詩」

譚詩：自由な形式の小叙事詩。バラード。

この組曲の三つの詩は、作詩者がヨーロッパ土産として受け取った、ハンガリー製の酒の皮袋「クラチ」と、オーストリアの「牛の鈴」から、ヨーロッパの田舎を想像し描かれた物である。ハンガリー人は、アンズやサクランボを醸してつくるパリンカという地酒を愛用しているそうで、これをクラチに入れて腰にぶら下げて山歩きをするそうである。また、牛の鈴の音は作詩者を春たつころのアルプスの山中に誘い込み、そこで、糸切り菌のかわいい娘に逢い、白い花びらのような印象を残したのである。

この曲では、ヨーロッパののびのびとした生活・自然が描かれているが、その中で随所に山の娘とのほのかな恋の心情も描かれている。小さな作品であるがために、さらりと歌ってしまえば、ただの事実の列挙になりかねない。しかし、あまりに感情を前面に出しすぎては、「白い花びらのような印象」を超えた物になってしまう。今日のステージでは、この「ほのかな恋」のバラードをできる限り表現できれば、と思う。

指揮者 松波 大介

松波大介。「天は二物を与へず。」という言葉が似合わない男である。天は、彼に天性の美声を与えたのだった。それは「神の声」のごとく研ぎ澄まされた響きを持ち、彼の歌うカンタービレの美しさにいたっては、鬼才パヴァロッティをも凌駕するといわれる。最近では、彼の美声によって悩殺され、メロメロになって欲情をもよおす部員が後を絶たない。さらにそれが進行すると、彼の美声の真似が流行して、一時期は「松波ブーム」が巻き起こり、「だめですう〜」



「松波ですう〜」の流行語が一世を風靡したことは、我々の記憶にも新しい。そんな彼も、今年からは我がグリーの常任指揮者として君臨している。ますます脂がのって神童ぶりを発揮している彼である。今宵もまた、すばらしい指揮で我々を魅了させてくれるに違いない。その暁には大きく男を上げ、「帝王」松波大介が誕生する日も、そう遠くはないだろう。

パリンカ

I

パリンカよパリンカ、
杏やさくらんぼを醸してつくる
ハンガリーの地酒パリンカよ、
おまえをクラチ（革袋）に入れて首にかけ
春立つころの山歩きがしてみたい、
みはてぬ夢のつづきをみたさに。

II

パリンカよパリンカ、
おまえはとうから知っていた、
わたしの胸のどこやらで揺れているひとつの影を、
わたしの好きな山の娘を。
あ、パリンカよ、
杏やさくらんぼを醸してつくる
ハンガリーの恋の酒パリンカよ。

牛の鈴

あのまろやかな鈴の音いろは
アルプスの雪のなかから萌えでる
牧のみどりです、
牛の首に揺れて鳴る
あのまろやかな鈴の音いろは
春を告げる恋のうたごえ。

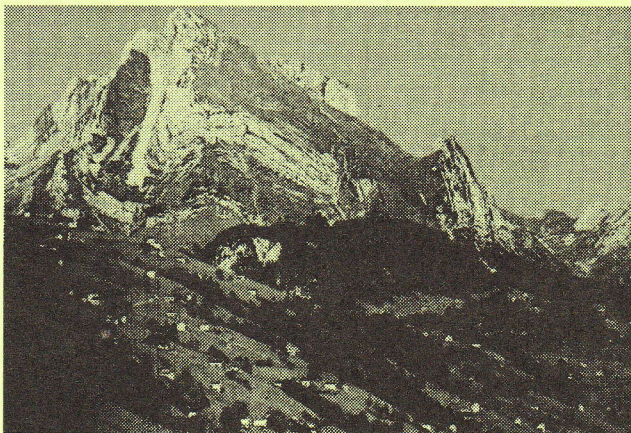
白い花びら

I

あ、ユウカリの梢に
風が乗っている、
その風を夕焼けが染めている、
そのなかで はぐれた心があそんでいる。

II

いまでも、眼の前に
浮かんでは消える
ひとつのイメージ、
チロルの山小屋で逢った
糸切り歯のかわいい娘、
娘よ、
あ、白い花びらのような
遠いおもいでよ。



2nd STAGE Train, ト레인, とれいん

皆さんは、鉄道の旅といえば何を連想しますか？ 切符、駅舎、駅弁、各駅停車の旅、新幹線の旅、出会いの旅、別れの旅、など、様々であろうと思います。好みは人それぞれだと思いますが、今日はグリークラブが皆さんに、6つの鉄道の旅にご招待いたします。

さてさて、どんな旅が始まりますのでしょうか？

ピアノ伴奏者 中山 昌子

大阪外国語大学地域文化学科ロシア語専攻3年。同校ピアノクラブに在籍。

いつもはガンガンと歌う、我々グリーンメンですが、彼女の伴奏が入ったとたん、実に表情が豊かになります。こんなすばらしい腕を持つ「しょうちゃん」こと、中山さんは、実は意外と庶民派。ごみ箱に「ビン・カン」と書いてあるのを見て、『「ビン・カソ」って何？』と真顔で聞いてきたりして、笑わしてくれたりします。



厳選した素材を生かした確かな味

養老乃瀧

北千里駅前8番館B1

北千里店

☎06(834)4210

宴会・コンパ 承ります

カット & パーマ

理容 浅井

箕面市栗生間谷東5丁目19-6

TEL (0727) 29-8091

線路は続くよどこまでも

I've be'n workin' on the railroad
all the livelong day,
I've be'n workin' on the railroad
just to pass the time away.
Don't you hear the whistle blowin'?
Rise up so early in the morn'.
Don't you hear the capt'n calling,
"Dinah, blow your horn."

線路はつづくよどこまでも
野を越え、山越え、谷越えて……
遥かな街まで
僕たちの楽しい旅の夢
つないでる



あの人の目が
うなずいていたよ
別れも愛の ひとつだと
The Garaxy Express 999
Will take you on a journey
A never ending journey
A journey to the stars

銀河鉄道999

さあ行くんだ
その顔を上げて
新しい風に心を洗おう
古い夢は置いて行くがいい
ふたたび始まるドラマのために

あの人はもう
思い出だけど
君を遠くで 見つめてる
The Garaxy Express 999
Will take you on a journey
A never ending journey
A journey to the stars

そうさ君は
気づいてしまった
やすらぎよりも 素晴らしいものに
地平線に 消える瞳には
いつしかまぶしい 男の光

3rd STAGE 男声合唱組曲「三つの俗歌」

この組曲のテキストはいずれも、大正11年に刊行された白秋の民謡集『日本の笛』に収められているものである。その冒頭の「民謡私論」のなかで白秋は、外形的には伝統的な俚謡調と民衆の言葉を用い、内面的本質においては、自己の生活感情を表現したもの、あるいは民衆の感情を代弁したものが、民謡であると述べている。白秋の民謡には南国風のものが多いが、南国の明るさと共に、南国人の敏感さ、複雑さ、複雑な性情から現れる寂しさをも描いている。また、民謡は民衆に謡われてはじめて完成する、とも述べているが、このステージで我々は、数々の民謡の作曲・編曲を手掛けた清水脩氏によって作曲された旋律で歌う。たとえ西洋音楽のハーモニーであっても、そこに日本的な感情を表現することは可能であると思う。今日はその日本的、特に南国の感情を表現できれば、と思う。

I 追分

誰が吹くのか 月夜の嶋に
ひとり ほそほそ 一夜切
椰子の花咲く 南の夏に
忍路高島 北の雪

II どぎまぎ

馬が角振る
さあ逃げ 牛よ

ひんひん そんならまいりましょう
何処まで逃げたらようござる

鹿のお宿が向にある

III 無宿者の歌

山に山猫
穴には貉
春は莖の花盛り

「かあかあ啼くのは禿鴉

ちゅうちゅう啼くのは薮雀

木では山藤 下り藤

お里へ下りれば 犬の声

鶏やこけこに 鳩くうくう」

どうせ 宿無し 羽根も無し

何処まで飛ばりよか

ええ このどぶ どぶ どぶ鼠

4thSTAGE NEGRO SPIRITUALS

大航海時代、経済・文化の大規模な交流によって、(西欧の価値体系による国際社会から見ての)世界はかなり広がった。この「世界」拡大をもたらした経済交流の一つとして奴隷貿易が行われ、多くの黒人がアフリカからアメリカに送り込まれた。彼らを待っていたのは激しい労働と豚にも劣るような惨めな生活であった。その黒人達の心の支えとなったのがキリスト教である。

まもなくその朝を迎えるのです
死が私の部屋に近づいてくるのです
ハレルヤ! 主よ! どうしたらよいのでしょうか?
祈るのです。精霊らが舞い降りてくるまで祈りなさい
ハレルヤ! 主よ! 祈り続ければよいのですね
私はとてもうれしいのです
この世の苦しみはいつまでも続くものでないのですから
"Soon One Mawnin"より

彼らは、全てのものに訪れる死—それは全ての苦しみからの解放を意味する—を肯定的にとらえ、その後、"The Promised Land (約束された地)" "すなわち、"Heaven (天国)"に行き、幸せになろうと願っていたのである。アメリカでの異文化—キリスト教=聖書—で得た題材から自分たちの心の叫びを見いだし、白人達の歌とアフリカの歌とを結びつけた音楽によって表現されたものがNEGRO SPIRITUALS (黒人霊歌)である。その音楽的特徴としては、多用されるシンコペーション、哀愁を帯びた旋律 (特に五音音階でないこともある)、などが挙げられ、のちにゴスペル、ブルース、ジャズなどの音楽に多大な影響を与えた。

*

*

*

男声合唱に編曲された黒人霊歌は、例えるならば翻訳された外国小説に似ている。私達の考えでは、音楽の演奏についての最大の目的は、その曲のなかに存在する思想、感性などを、今の時代において表現することによって再生することである。もし、そうであるとすれば、私達の黒人霊歌の演奏は、元来歌われた形態でないということ、英語を母語としない者が歌うこと、の2点でハンディキャップを負うことになる。外大グリーが70年近くもこの黒人霊歌を取り上げてきたのは、人の叫びそのものであるそのメッセージに共感を覚え、それを伝えようというポジティブな思いが存在し続けたからであると思う。

近年の部員数減少により、選曲、技術的な面では頭を悩ませたが、この思いは引き継がれるべきものであって、如何にこれを表現すべきかを考え続けている。そして、本日のステージでも各人がその思いを胸に込め、精一杯歌いあげようと思う。

Bones Come A-Knittin'

Go down, go down, Ezekiel, to the valley!
Go down, go down, go down and prophesy!
Oh, Lord! Thou who knowest.
Will these dry bones live again?
Wind blow, bones come a-knittin'
Wind blow, foot bone come a-knittin'
Wind blow, toe bone come a-knittin'
Anklebone, shinbone, kneebone, hipbone, backbone,
wishbone, shoulderbone, hambone
Knit by knit, knot by knot,
Sinyer by syner an' a j'int by j'int.

Little Innocent Lamb

Little Lamb, little Lamb, little innocent Lamb,
I'm a-gonna serve God till I die,
Hypocrite, Hypocrite, Tell you what he do,
He'll talk about me, an' he'll talk about you,
Debbil, he's got a slippery shoe,
Now if you don't mind, he gonna slip it on you.
'Cause dere ain' no dyin' ober dere, in dat hebbenly lan'
Dere'll be joy!
Jes take one brick from Satan's wall,
Satan's wall gonna tumble an' fall,
Little Lamb, little Lamb, little innocent Lamb,
I'm a-gonna serve God till I die,
'Cause dere ain' no dyin' ober dere, in dat hebbenly lan'
Dere'll be joy!

Po' Mourner's Got a Home at last

O my Lord, Po' mourner's got a home at last,
O, mourner, Ain't you tired o' mournin'?
O, sinner, Ain't you tired o' sinnin'?
Bow down on-a yo' knees an' join de band ob de angels,
No harm, Go tell Brudder Elijah,
No harm, Po' mourner's got a home at last.

Let Us Break Bread Together

Let us break bread together on our knees,
Let us drink wine together on our knees,
Let us praise God together on our knees,

When I fall on my knees with my face to the rising sun,
Oh Lord, have mercy on me,
Lord, have mercy on me.

Ready When He Comes

Well, I want to be ready when He comes again,
He's comin' again so soon.
Never let Him catch you at the barroom door,
Never let Him catch you with a tattlin' tongue,
Well, I want to cry "Hold Him" when He comes again,
He's comin' again so soon.

Wade in de Water

Wade in de water, wade in de water, children,
God's gonna trouble de water.
See dut ban' all dressed in red. Look like a ban' dat Pharaou led.
See dut ban' all dressed in white. Look like a ban' of Iserealites.
Wade in de water, wade in de water, children.
God's gonna trouble de water.

Little David, Play on yo' Harp

Little David, play on yo' harp, Halelu.
David was a shepherd boy,
He killed Golia and shouted for joy.
Joshua was a son of Nun,
He never would quit till his work was done,
Little David, play on yo' harp, Halelu!

Soon One Mawnin'

Soon one mawnin' Death come a-creepin' in mah
room,
Hallelujah! Oh mah Lawd! What shall I do?
Pray, gonna pray, Holly Ghos' come,
Pray, till de Holly Ghos' come,
I'm so glad dat trouble don' las, always?
Hush, De Lawd's, gonna call mah name,
Hallelujah! Won' yo' hush?
Oh mah Lawd! What shall I do?



団員紹介

外大グリーンメン……。そのまじめな顔と衣装の下の赤裸々な正体は？ あああ～～～。

TOP TENOR

松尾 年展 TOSHINOBU MATSUO

(地域文化学科ベトナム語科1回)

北海道では有名な松尾ジンギスカンの長男坊。彼はピアノとフルートを吹くのが趣味で、秘書の資格も持っている。パソコン通信と友達に電話するのが好きで、電話代は毎月？万円になるとか。女の子のような話し方や振る舞い、部員に会うと「〇〇さんだっこ～」といいながら笑顔で両手を振る。遅刻、無断欠席の常習犯で、都合が悪くなればネコの鳴き真似をしてごまかす。一人でしゃべっては一人で大笑いする。コンパの席では牛のぬいぐるみを着て部員を恐怖に陥れる。危険な香りを漂わせる彼にグリーの将来はかかっている。



左より／森野、大木、山口、松尾、松波、三森、尾上
右上／梶間

松波 大介 DAISUKE MATSUNAMI

(地域文化学科ロシア語科3回)

「松波大介が変わった!!」このニュースは外大合唱界を席卷した。関係者の話によると、今年入部した後輩達の挙動言動に最初のうちは翻弄されていたが、M尾君と一緒にネコのまねをしたり、「O上、また楽譜忘れたんやろ」と非常に激しいツッコミをいれたり、車をバックさせるときに後部バンパーを壁に激突させたり、以前なら全く興味を持たなかった下ネタ話にも最近随分興味を持ったらしく、周囲の人間を驚かせている。-- (本人談)「え～っ、僕そんなに変わってませんよ～」(上品、かつ合唱声の大阪弁で)

森野 良典 YOSHINORI MORINO

(I部朝鮮語学科7回)

今年になってネパールから「日本に帰る」という手紙が届いた。あまりにも急な知らせに我々は驚いたが、4月に関空に降り立ったときの彼の妖しげな姿を見て、もっと驚いた。しかし、その後、新入生達の彼以上のパワーに押されてしまうとはいったい誰が想像し得ただろうか？今年学祭でネパールでの知識を生かして模擬店でカレー風味の「サモサ」を販売した。現在神戸から大学まで通っているが、火曜日の夜遅い練習の時は「帰れない～」と口実をつけ、松尾邸をはじめとするグリーンメンの家を徘徊している。来年にはまたネパールに留学する予定。

SECOND TENOR

尾上 剛 TSUYOSHI ONOE

(国際文化学科ロシア語科2回)

今年4月入部以来の尾上剛語録◆「先生、カンニングプレスは認められているのですか」(客演指揮の先生の前で)◆「だめです〜」(指揮者M波氏のまね、グリーだけでなく女コラにまで流行らせた)◆「O木さんって、部長だったんですか(夏合宿で)◆「レモンの入れもん」(このたぐいの駄ジャレはしょっちゅうで、部員の間で『レベル尾上』と呼ばれている。練習中に言うこともあり、指揮者を困らせる。)◆「でもやっぱりM波さん好きやわ」(練習を止めて、不機嫌になった指揮者に言っ、丸く納めようとする)他迷言、迷行動多数。

大木 周 MEGURU OHKI

(I部英語学科4回)

偉大なる我が部長。さすが4年目ともなると落ちつきがでてくるだろうと思いきや、練習中とはとにかくうるさい。「いや、違う、違う!」を連発。とにかく言い訳が多いのだ。指揮者も良くできたもので、「言い訳はともかく」と軽くなされてしまう。ところであの史上最大の作戦、おまけに卒業はどうしたのでしょうか?多くの課題と言い訳を残して5年目に突入してしまう。こんなことを書くと、また「いや、違う、違う。」と言われそうやなあ。

BARITONE

梶間 貴志 TAKASHI KAJIMA

(94年度I部朝鮮語学科卒)

彼は、大阪外大の卒業生で、元指揮者。今年、無事就職もしたはずだが、どういう訳か、このステージに立とうと乗り込んできた。それは、グリーに革命的精神を植えつけようと考えているからか?そう、彼は、朝鮮語科ではなかったか。やはり、北朝鮮の工作員であったか。しかし、今日もO上氏のどうしようもないギャグで息を吸い込みながら大笑いする彼の姿や、H急のバイトだバイトだという姿からはその片鱗さえ見えない。やはり、彼も新入生のあまりにすごいパワーには勝てなかったか?

BASS

三森 良太 RYOTA MITSUMORI

(地域文化学科スペイン語科3回)

彼は今走っている。バス代20円を節約するため(練習後にいく王将で腹一杯食べるため)4停留所、徒歩15分の道のりを。無事に今日も間にあった。「はあ〜、さっぱりさっぱり〜」などとおぼやきながら、バスに乗り込んでくる。おっ!今日もまたバンダナの色が違うぞ(彼の日替わりバンダナは有名だ)。「いや〜、今日はいいのがなかったんですよ〜。やっぱり腹筋100回続けてできないし〜、でも〜、ラガールカード買ってくださいね〜。」

山口 壮 TSUYOSHI YAMAGUCHI

(I部ドイツ語科7回)

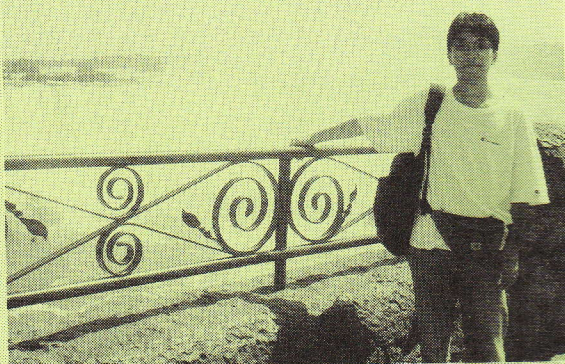
2年前の突然の卒論断筆宣言の後、1年間の充電を経て帰ってきた!立体パズルのように整然と片づけられた部屋、中古CDのコレクション、他のグリーメンを尻目に彼女がいる(相手は過去と変わったが)等、2年前と生活形態はあまり変わっていない。しかし、後輩のギャグに応え、自らも突拍子のないギャグをとばしたり、また、Macintoshを購入、夜な夜なぶつぶつ言いながら画面と格闘。この前などは、パソコン通信で後輩M尾と危ない(?)電子メールのやりとりをしていた。今年も卒論に黄信号が灯っていると思うのは私だけであろうか?

FAIRWELL MESSAGE

よい演奏会とは何か、よいコンサートとはどんなものか、を考えているうちに、あっという間に4年間で過ぎてしまいました。このような少人数の団でやってこれたのも、「自分」という存在価値を認めてくれた人が必ずいたこと、そして音楽について真剣に考える場があったからだろうと思います。でもその一方で、自分の弱さ、小ささを思い知らされた4年間でもありました。至らない私を支えてくれた皆さんに、心から感謝したいと思います。

しかし、私の音楽追求の旅は終わったわけではありません。まだまだ。そう、まだまだこれからです。

(95 11.26 外院にて ベートーヴェン「第九」を聴きながら 一部より多少のツッコミが入るのを想定しつつ)



大木 周



産地直送の味覚が店内

北海道料理

いっぱい

毛ガニ・ししゃも・北寄貝・つぶ貝・鰯・
ほっけ・きんぎょ・グリーンアスパラ
コーン・ポテトなど……………。



本店 箕面市役所前
(0727) 23-4462

船場店 箕面市民病院前
(0727) 28-6411

レベル尾上協会

- Level Onoe Association -

会員募集中!

会員資格：周囲の者を脱力させるギャグを言える方
会員特典：会長自らによる無料ギャグ指導

会長：尾上 剛

(代表作・八鹿駅で降りようか)

団 員 名 簿

STAFF & MEMBERS

顧問 高田 博行（大阪外国語大学ドイツ語科助教授）

ヴォイストレーナー 林 誠（大阪音楽大学教授）

部長 大木 周

指揮 松波 大介

会計 三森 良太

Top Tenor

森野 良典（K7・北須磨）

松波 大介（R3・生 野）

紺野 一彦（R2・仙台三）休部中

松尾 年展（V1・希望学園札幌北嶺）

Second Tenor

大木 周（E4・春日丘）

尾上 剛（R2・尼崎東）

Baritone

梶間 貴志（K卒・大手前）

Bass

山口 壮（D7・津 西）

三森 良太（S3・金沢二水）

K：朝鮮語 R：ロシア語 V：ベトナム語 E：英語 D：ドイツ語 S：スペイン語

編集後記

辛くも楽しい編集作業。デザイン感覚ゼロの私に果たしてつとまるのかどうか、不安で眠れないことしきり。とはいっても、形が見えてからは楽しんでやらせていただいたのも事実です。このパンフレットが皆様にとって、本日の演奏会をより楽しんでいただける手助けとなれば幸いです。

最後になりましたが、制作にあたり、原稿をお寄せ下さいました先生方、快く広告の掲載を承諾して下さいました広告主の皆様、厚くお礼申し上げます。

編集 大木 周

印刷・デザイン 工房ムーゼン

発行日 1995年12月9日

松尾ジンギスカン 本店

笑顔がうれしい

松尾ジンギスカンです。

松尾羊肉株式会社 北海道滝川市明神町3丁目5番12号
☎(0125)22-2989 FAX22-5200

<収容人員>

■本館／700名様 ■別館／1,000名様

■駐車場／バス40台収容(無料)

大 関 屋

中 川 忠 三

大阪市北区曽根崎2丁目13番1号
TEL 314-1991

宴会・コンパに
ひと役買います!!

16時より営業
(只今アルバイト募集中)

合唱団の夏合宿に…

関西随一の雪質・八チ北スキー場 当館は第一リフトが真正面に見えます

冬のスキー旅館としてご利用下さい

アルバイト・居候募集中!

国立公園／八チ北高原

みはらしや

〒667-12 兵庫県美方郡村岡町大笹
☎(07969)-6-0739・0604

レセプションのご案内

本日は、大阪外国語大学ブリーククラブ第39回定期演奏会にご来場下さりまして、ありがとうございます。終演後、さまでやかではございますが、下記の場所におきまして、レセプションを予定いたしております。ご多忙中とは思いますが、ご出席して下さい方は、団員が案内いたしますので、ロビーでお待ち下さい。

記

養老の瀧 石橋店 (9:30ころ開始予定です)